

2016年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	文学部
評価基準 8	社会連携・社会貢献
点検・評価項目(2)	8-2 教育研究の成果を適切に社会に還元しているか。
評価の視点	教育研究の成果を基にした社会へのサービス活動
	学外組織との連携協力による教育研究の推進
	地域交流・国際交流事業への積極的参加
点検・評価項目(3)	8-3 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

8-2	日本文学科学生有志による、板橋キャンパス地域の子供とのスポーツ交流指導、教育学科の「寺子屋」や、書道学科の埼玉県を中心とする「義務教育文字文化推進事業」を展開することで地域の小・中学校への還元を行っている。また、「文学部特別講義」に、学内関係者のみならず、地域の方々の参加も認めている。(ただし、人数調整の困難な場合もある。)
8-3	検証をおこなっているが、今後の取り組みについて、検討を重ねて行く必要がある。検証は各学科および文学部教授会が行う。

【効果が上がっている事項】

8-2	
8-3	

【改善すべき事項】

8-2	新たな地域交流、国際交流事業へ参加する必要がある。
8-3	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

B8-1 大東文化大学の基準別基本方針 HP http://www.daito.ac.jp/information/about/basicpolicy.html <<既出>>B1-5
〔追加資料〕

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	8-2 新たな地域交流事業又は国際交流事業が開始されている。	新たな地域交流事業又は国際交流事業が開始されている。	→			C		
			→					
			→					
14年度 目標	8-2 新たな地域交流事業又は国際交流事業が開始できるかどうかの検討を始める。	新たな地域交流事業又は国際交流事業が開始されている。	→	B				
			→					
15年度 目標	8-2 新たな地域交流事業又は国際交流事業が開始できるかどうかを引き続き検討する。	新たな地域交流事業又は国際交流事業が開始されている。	→		C			
			→					
16年度 目標	8-2 新たな地域交流事業又は国際交流事業が開始できるかどうかを更に検討する。	新たな地域交流事業又は国際交流事業が開始されている。	→			C		
			→					